

◆「新しい川崎」メール版◆

－2026年1月13日第211号－

<目次>

※新春企画・<2026年、わたしの希望>

●～国民生活置き去り、軍事産業の強化策を進める高市政権～

◆～川崎市総合計画素案の批判的検討 その2～

▲お知らせコーナー

①1/19 川崎市社会保障推進協議会の予算要望に対しての川崎市との懇談会

②1/21 学習会「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」

③1/31 映画会「サイレント・フォールアウト」(見えない放射線降下物)

④2/28 ゆめシネマ「マヤ一天の心、地の心一」

★編集後記

※新春企画<2026年、わたしの希望>

●2026年、わたしの心配

～国民生活置き去り、軍事産業の強化策を進める高市政権～

高市政権が進めている経済政策は、国家主導による軍事産業基盤の強化策としての色彩をいよいよ強めている。

この方向を変えなければ、国民生活改善への希望は遠のくばかりだ。

これまで防衛省によれば、2024年度の当初予算に計上した在日米軍関係経費の総額が8601億円となっており、4年連続で過去最大を更新していることが明らかになっている。こうした事態は、日米安保条約上でも支払う義務がなく日米同盟絶対の自民党政権の下で対米従属と、大軍拡を進めてきたからである。

<高市政権による兵器産業への全面的支援>

小野田経済安全保障担当相は、2025年12月に経済安全保障推進法に基づく特定重要物資に、無人航空機[ドローン]・[人工衛星]・[ロケットの部品]・[人工呼吸器]の4品目を、追加すると発表した。

この制度は、サプライチェーンの脆弱性が顕在化する中で国家が戦略的重要とした物資を、確保するものである。

事業者が特定重要物資の安定供給確保に向けた取り組みをまとめた[安定供給計画]を、作成し所管大臣の認定を受けることで各種の支援措置を受けられる、仕組みである。

認定を受けた事業者は、助成金や信用保証などといった財政的な金融的支援を受けることが可能となり、今回の決定で特定重要物資は 16 品目に拡大する。

特定重要物資の認定済計画数は、2025 年 8 月 8 日時点で 135 件に上り確保されている予算の総額は、2・4 兆円になる。

特定重要物資には、半導体をはじめ軍事産業の基盤となる分野や軍事転用の可能性が高い分野が数多く、含まれており特定重要物資として指定されかつ事業計画が認定された事業者は、資金調達面や事業継続の見通しにおいて国家による事実上の後ろ盾を得ることを、意味している。

こうした事態は、さらなる財政支援が可能となり恒久化し財政を圧迫するリスクがある。さらに特定重要物資の対象品目は、拡大しており支援措置が長期化し固定化する懸念が大きく問題がある。

またそこでは、政務官や財政官と事業者間による癒着の温床になる可能性がある。

<国の予算は、国民のために使え！>

一方で 2026 年度[与党税制改正大綱]では、研究開発税制に[戦略技術領域型]を創設し AI[人工知能]や、先端ロボット・量子・半導体などに対する減税措置が、盛り込まれている。高市政権が進めている強い経済政策の下では、国家介入が目指している方向性と構造が厳しく問われるべきである。

国家の予算は、主権者である国民のために使うものであり日米同盟絶対の高市政権の大軍拡に抗して、米国や大企業の利益を優先する社会ではなく生活者が主体の政治を強く求めらる。

投稿 川太啓司（中原区在住）

◆ 行政改革第 4 期プログラム素案を読んでみた ～川崎市総合計画素案の批判的検討 その 2～

メルマガ 209 号では、川崎市が策定を進めている「川崎市総合計画素案」の基本認識について批判しました。

川崎市が「川崎市総合計画素案」の検討で強調した「これから川崎市が重点的に取り組み課題は、少子高齢化と人口減少」という基本認識は、現状の課題に目をつぶり、「近い将来」というあいまいな表現で、今後10年間の市民生活改善の課題からの逃走を図ったものではないか、と。

その意図がよくわかるのは、同時に川崎市が提案した「行財政改革第4期プログラム素案」を読むことです。

この素案では、行財政改革策定の意図として「成長と成熟の調和による持続可能な最幸のまち かわさき」の実現に向けて、市民に必要なサービスをより質の高いものとして確実に届け、市民満足度の向上を図るため」としています。

「川崎市行財政改革第4期プログラム素案」

それでは、これまでの福田市政3期12年で「市民満足度の向上」は実現したのでしょうか。

川崎市が実施した「貢献度調査」ですら、その答は「ノー」です。第3期プログラムが「貢献した」との回答は、42%にとどまり、「貢献したが課題もあった」と「効果が発現していない。」を合わせると58%に達します。しかも、第2期に比べて、18%も悪化しているのです。（「素案」の5ページ）

今回の第4期素案では、「川崎市総合計画素案」の間違った基本認識にたって、さらなる市民生活の困難無視、福祉・子育て・暮らしの改善とは真逆の福祉抑制の提案が次々と出てくるのです。

今回は、問題提案項目の紹介にとどめますが、ぜひ、該当するページを開き、文字と行間を読み解いていきましょう！

「素案」のページ順に、羅列してみます。

①高齢者、障がい者外出支援乗車事業のあり方を検討（p 34）

②高齢者に対する市単独事業のあり方を検討（p 35）

③休日診療所の見直し（p 36）

④歯科保健センターの見直し（p 37）

- ⑤障がい者施設運営費補助のあり方の検討（p 38）
- ⑥公立保育所のあり方、保育・子育て支援センターなど支援施策の再整理（P 40）
- ⑦区役所サービス「行かなくてよい窓口、オンライン手続き」の推進（P44・P 54）
- ⑧あらゆる事業への民間活用の推進（P 49）
- ⑨市民プラザの方向性、民間活力の導入（P 49）
- ⑩公共福祉施設の民間活用の推進（P 51）
- ⑪公園の民間活力の導入（対象 4 公園を 6 公園へ）（P 52）
- ⑫等々力緑地の民間活力の導入方針にもとづく更なる効率的運営と経費削減（P 52）
- ⑬夢見ヶ崎動物公園再整備での民間活力の導入（P 54）
- ⑭市内全域の学校施設への包括管理委託導入（P 55）
- ⑮学校プールの新設や更新は行わず、市民プール、民間プール活用（5 校を 80 校以上）（P 55）
- ⑯全ての市民館、一部の図書館への指定管理者制度の導入（P 56）
- ⑰公共施設の床面積を増やさず、公共ホールの最適化を推進（P 75）

まだまだ見落としがあるでしょうが、まさに、「民間活力導入、民間委託のオンパレード」です。

ぜひ、読者のみなさんと共に、徹底批判学習運動をよびかけたいと思います。（H）

★ お知らせコーナー

- ① 川崎市社会保障推進協議会の予算
要望に対しての川崎市との懇談会
1/19(月)午後 1 時より

会場未定（次号で掲載予定）

連絡先 光野（090-4829-2414）

② 学習会「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」

～「住まいの権利」から考える～

講師；和洋女子大学名誉教授；中島明子先生

1月 22日(木)18時30分

川崎市総合自治会館大会議室

問合せ、共産党市議団 044-200-3360

③ 映画会「サイレント・フォールアウト」（見えない放射線降下物）

アメリカ・ネバダの核実験から広がったアメリカ大陸の放射能汚染の実態に迫る。

1/31(土)9:45～11:45

総合自治会館 ホール

参加費無料、事前申込不要

主催・NPO 原発ゼロ市民共同かわさき発電所

・原発ゼロへのカウントダウン in かわさき

予告動画

④ ゆめシネマ「マヤ一天の心、地の心ー」

2/28(土)①9時②12時③15時

かわさきゆめホール

申込：044-433-3003(ゆめホール)

cinema@kawasakiyume.com

予告動画

★編集後記

人気があるから解散？

高市首相が臨時国会冒頭での解散の決意を固めたとか。

この解散に名前を付けるとしたらやっぱりこれ。

「そんなことよりも解散」ですね。

党首討論で、企業・団体献金の見直しについて問われた際、「そんなことよりも」と定数削減に話題を変えた高市首相の態度は、企業団体献金の見直しへの消極的な姿勢をあから

さまに示して、国民をドン引きさせました。

「そんなことよりも」この言葉に、国民の思いと高市首相の意思との大きな乖離を感じます。

高市氏の心の声を想像してみました。

台湾有事発言で中国を怒らせて経済的ダメージが深刻です。撤回して謝って！

「そんなことよりも」対中強硬姿勢を支持する保守層の人気が大事。

消費税を廃止、インボイスもやめて国民の暮らしを守れ！

「そんなことよりも」大企業、大金持ちの利益が大事。

物価高にあえぐ、医療、福祉に予算を回せ！

「そんなことよりも」軍備の増強が大事。

喫緊の物価高対策の審議をいそげ！

「そんなことよりも」今なら選挙に勝てそう。自民の議席増が大事。

韓国で、旧統一教会の日本政界工作に関する資料が出たけど真相解明を！

「そんなことよりも」ばれないうちに議席を増やして政権安定を！

こりゃだめだ。(Y)

☆☆チェンジかわさき！☆☆

川崎民主市政をつくる会

〒211-0011 中原区下沼部 1880

お問い合わせ

mailmag@newkawasaki.jp

公式ホームページ

<https://newkawasaki.jp>

☆☆チェンジかわさき！☆☆